



2021年10月 NO.65



2021-22年度新会長就任



板頭 芳樹会長よりあいさつ

この度、2021年度総会にて代表理事に選任いただきました。宜しくお申し上げます。私は、以前2003年から2007年まで会長を務めさせていただき、2度目の就任となりますが、その頃と比べますと、随分と世の中の状況が変わってしまいました。

以前は、続々と海外に出て、あるいは海外から招いて、人と人の直接交流が盛んな時代でしたが、今は「コロナ禍」によって、完全にそれが閉ざされてしまいました。

その状況のなかで「人と人が直接交流する意味・価値は何か」が改めて問い直されているのではないのでしょうか、確かに言葉のコミュニケーションはオンラインで充分に出来るようになりました。しかし、その手段では補えない何か、直接交流する場所には有るのではないかと思います。

今年度のスタートは、活動がほとんど制約される事態となりましたが、コロナが収束し社会活動が再開された際には、「国際交流」の意味を再認識して、今の時代に必要な活動を積極的に再開し、次の世代への橋渡し役を担いたいと思います。

皆様のご支援、ご協力を宜しくお申し上げます。



◆ 5/16 2021年度総会報告・理事会
コロナ禍により、昨年度同様、書面議決となりましたが、理事の皆様にご集まりいただき、報告事項等行いました。

理事改選の年、安藤志郎元会長が任期満了のため、ご退任。2013年度から7年間もの長い間、協会のために多大なるご尽力をいただき、本当にありがとうございました！



◆ 5/29 伊藤市長との面談

板頭会長の就任にあたり、地域の在住外国人との共生に関わる今後の事業方針や市との連携、姉妹都市交流など、発展的な話し合いがなされました。

外国人児童生徒学習支援 MIRAI クラス



ZOOM クラスの様子

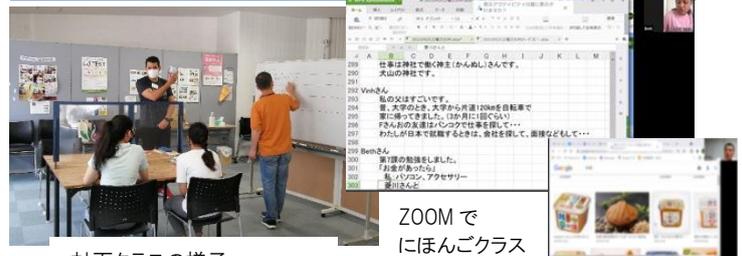
◆市内の外国人児童生徒の学習支援 (太田クラス：水金 古井クラス：火木開催)

4 月は対面クラスからのスタートでしたが、新型コロナウイルス感染防止のため授業時間が短縮になり、8/20 以降は緊急事態宣言のため小学生クラスは休講、中学生クラスのみ ZOOM でのオンライン開催となりました。

会場の使用不可が急に決まったため、スタートに手間取りましたが、オンラインに慣れている大学生サポーターの力が大きくとても助かりました。

10 月からは、対面クラス再開、移動がなく楽なようですが、やはりオンラインでは分からない問題を画面共有するのに時間がかかること、家庭での Wi-Fi 環境の設定の不具合などを考えると、まだ対面できちんと行うことが効率的に勉強できるようです。

MIEA 日本語会話クラス 水・土開催



対面クラスの様子

ZOOM で
にほんごクラス

日本語会話クラスも同じく、対面クラスが再開するも再びの緊急事態宣言により 8/20~9 月末まで ZOOM オンライン開催となりました。今回はサポーターさんたちも初めての方が多く不安そうでしたが、最近では ZOOM 機能もすっかり使いこなせるようになりスムーズな開催となりました。サポーターもシニア層の方が多いのですが、オンライン対応方法も積極的に学ばれる姿勢は素晴らしいです。

ZOOM ならではの、参加者が画面共有を自由にできることでインターネットの情報や画像をすぐに使って説明した利しながら、コミュニケーション効果があると感じました。日本語を少しでも話す機会を増やしたいと参加される外国人の方の学習意欲継続に役立ったと思います。

現在は対面クラスに戻っておりますが、毎月第一月曜日のオンラインで「日本語おしゃべりクラス」も継続されています。ぜひ日本語で会話をしたいという外国人のかた、また日本人のかたで、外国のかたと交流をしたいかた、ご参加お待ちしております！



姉妹都市オーストラリア・ダボより ダボ市役所姉妹都市担当カイリー・サザランドさん

コロナ禍により、2 年連続で学生派遣交流も中止となり、とても残念です。現在のダボの情報をいただきました。

ダボでは、今年は雨に恵まれ、美しい春の気候の中、見事な桜の開花シーズンを迎えています。63 日間のロックダウンの後、通常の生活に戻り始めたことで、住民はとても喜んでます。10 月 11 日（月）、ニューサウスウェールズ州政府は、コロナワクチン接種を 2 回受けたすべての人を対象に、ロックダウン規制の解除を開始しました。現在、ダボの地方自治体では、86%の人がコロナワクチン接種を 2 回受け、96%の人が 1 回接種を受けています。



世界の多くの場所と比較して、ダボやオーストラリアでは新型コロナの感染者数が少ないです。2020 年には、ダボでは新型コロナ感染がありませんでしたが、デルタ株の影響はニューサウスウェールズ州全体に及び、ダボでも 2021 年 8 月 11 日にロックダウンが実施されました。重要業務従事者以外は自宅で仕事をしています。エッセンシャル・ワーカーの子供たちだけが、学校や保育所に行くことが許されています。ほとんどの子どもたちは、親の助けを借りて自宅でのオンライン学習に移行しました。教師は生徒のためにレッスンパックを用意し、ZOOM クラスを開催しました。家の外ではマスクを着用し、コロナの安全対策に従うことが求められました。ロックダウン期間中は、すべての小売店、文化施設、接客施設が閉鎖され、食料品や生活必需品を扱うスーパーなどの店舗のみ営業しました。レストランでは持ち帰り用を販売することで営業できました。食料品や生活必需品の買い出しに行けるのは 1 人だけで、互いの家を訪問することも許されませんでした。

小売店、ジム、劇場、宿泊や娯楽施設など、多くのビジネスがロックダウンの間、取引ができず、経済的損失を被りました。これらの業界で働く人々の多くは、政府からの給付金を受け取ったり、雇用主から給与を受け取ったりしています。また、経済的な損失を受けた中小企業に対しては、政府からの助成金もあります。ホスピタリティ、小売、観光業界のビジネスや労働者に対する長期的なロックダウンによる影響は、すべての制限が解除されて

操業できるようになる数ヶ月後にしか、明らかにならないでしょう。

オンラインでの学習は、子供たちや家族にとっての課題となっています。保護者の多くは自宅で仕事をしており、仕事をしながら子どもの学習を監督する時間を確保しなければなりません。しかし多くの家族は、この特別な時間を最大限に活用して、自分たちの楽しみを作り出し、お互いに楽しんでいます。屋外で運動することは、誰もが許されています。家族で川沿いの道や住宅地の中を歩いたり、走ったり、自転車に乗ったりしています。人々は家の周りや庭の手入れにも時間をかけています。

ダボでは、小売店、ジム、接客業、観光業などの施設が、予防接種を受けた人々向けに営業を始めており、非常に前向きな雰囲気です。家族や友人がお互いの家を訪問したり、レストランで食事をしたりすることができるようになりました。雨もよく降っていて、農家は春の豊作を期待しています。11月1日からは、ダボをはじめ、ニューサウスウェールズ州全体で、さらに多くの制限が解除されます。ワクチンを2回接種した人は、州内を自由に移動できるようになり、ダボ以外の場所にいる親戚や友人宅を、また訪れることができるようになります。

姉妹都市美濃加茂市の友人たちのコロナの状況も心配です。岐阜県ではコロナ感染数が少なくなり、緊急事態宣言も解除されたと聞いてよかったです。日本とオーストラリアの政府が国境規制を解除し始めたので、美濃加茂市との学生交流が再開され、MIEAのメンバーがダボを訪問されることを楽しみにしています。

コロナ禍の海外は？ 海外在住の過去ダボ派遣生から現地情報です～☆



アメリカ・ハワイ州



武田 海里さん

2007年度派遣生
2017年～現在
ハワイ在住・観光業

◆デルタ株による影響

6月頃にはコロナは乗り切ったと思っていた矢先、ハワイでもデルタ株が夏以降に流行、ICUが満床に近い状況になるほどでした。コロナが爆発的に流行っているのと同時に、アメリカ本土からの観光客が毎日約2万人近く来ており、オーバーツーリズムという問題もありました。8月末になっても、感染者数が減らなかったため、イゲ知事が渡航の自粛の要請をしました。

◆現在の規制

アメリカ本土では、大規模なイベント等実施されていますが、ハワイでは現在も多くの規制があります。例えば、屋内でのマスクの着用や集会人数の規制があり、オアフ島では9月中旬より、ワクチンパスポートが導入され、レストラン、ジム、映画館等施設に入る際は、ワクチン接種カードまたは陰性証明書（48時間以内）の提出が義務化になりました。業種によっては、企業にも導入されているところも多くあり、住民向けに無料で検査をしている場所も多くあります。

◆最近のハワイ

ハワイは年中暖かいというイメージがあるかもしれませんが、10月末になり朝晩は日本の秋の気候のような、少し涼しくなり過ごしやすくなりました。まだ日中は、暑く昨日もビーチで泳いできました。現時点で、2回目のワクチン接種率は70%・新規感染陽性率、1.9%になり、イゲ知事が先日11月以降に、再び本土観光客の受け入れを開始すると会見がありました。一方で、バイデン大統領が外国人に対して、11月8日からアメリカ入国時にワクチン接種と陰性証明書を必需し、日本は陰性証明書のみでよかった為規制が増えました。

◆自然を守る

特に2020年はハワイの自然が休憩する事ができた年でした。それにより、シュノーケルスポットで有名なハナウマ湾では約9カ月閉園中に、海水の透明度が約60%向上し、以前よりも大きな魚が増え、またワイキキでも頻繁にハワイアンモンクシールが遊びにきていました。今後も海洋資源を守るために人数制限や入場料の上昇等新たな取り組みが導入されています。

◆次回のハワイ旅行で是非気をつけていただきたいこと～ご参考に！

- ・サステイナブル：マイ箸（フォークやスプーン）、マイ水筒、マイバックの持参を
- ・野生動物を見かけた際の距離：推奨距離あり（ウミガメ3m、ハワイアンモンクシール15m、イルカ45m）
- ・サンゴ礁に優しい日焼け止めを
- ・サポートローカル：ハワイでは家族経営や小さなお店もまだ多くあります。
是非、Made in Hawaii のお店のサポートを！

ハワイは、日本人の皆さんがまた来てくださることを本当に楽しみにしています 🌸



コロナ禍での韓国生活

高橋 未央さん



チェジュ島にて

1998 年度派遣生
2017 年
韓国人のご主人と結婚
現在は二人の娘さんのママ

皆様、こんにちは、コロナ禍の日本でどうお過ごしですか？

私の住む韓国での生活は、日本と比べて若干厳しい制限が設けられているように感じます。

例えばスーパーや飲食店に入店するときは必ずマスク着用で、毎回携帯電話でのチェックインが必要、もし感染者が出た場合に連絡が来る仕組みになっています。初めは面倒に感じましたが今は当たり前になっています。集まる人数も制限されており5人以上禁止というのが年始からずっと変わっていない状況で、通報される場合もあります。

最近ではコロナ慣れした感じもありますが、まだまだ街もいつもより人出が少なく寂しい雰囲気です。店もたくさんあります。

こんな状況で外出はもちろん友達に会う事も、以前の通りにはできません。私には小さい娘が2人おりますが友人と遊ぶときはこっそり、あとは家族での時間を楽しんでおります。

幸いにも私の家は海の近くの田舎にあるので、人が少ない場所を選んで砂浜で遊んだりしています。夏には海水浴に来た子供たちも皆マスクをして遊んでいる不思議な光景でしたが、そんなのも束の間で大きなビーチもすぐに閉鎖されてしまいました。本当に寂しいですね。

秋になり、最近はこちらでも少しずつ『with コロナ』という言葉も聞くようになって来ました。いろんな制限が少しずつ緩和され、希望が見えてきたところです。

またこれから寒くなりますので皆様もお体に気を付けてくださいね。

◆学習支援・日本語サポーターさん募集◆

小中学生の学習指導、日本語会話の学習サポーターをして下さるかたを募集しています。大学生アルバイトもOKです！詳細は事務局まで問い合わせください。



Davidさんの英会話クラス



◇月曜日 19:15~20:30

(月3回)

場所：則竹ビル1F

対象：

高校生～シニアのみなさん



在日20年以上、オーストラリア出身のDavidさんの英会話クラス、好評開催しています！参加・体験も随時受け付けています。

不用になった学用品の募集 〈随時〉

市内在住外国人の方に向けて、リサイクル学用品を貸出しています。中学生の制服・小中学生の体操服など、たいていの学用品はリサイクルしています。ご家庭に使わなくなったものなどありましたら、ぜひ事務局までお願いします。

活動を支えてくださる会員を募集しています。

【年会費一口】

個人会員 ￥3,000

家族会員 ￥5,000

法人会員 ￥10,000

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、様々な国際交流イベントの実施を自粛中です。一日も早く、新型コロナウイルスが収束して、皆さんと直接交流を楽しめる日が来ることを祈っております。

美濃加茂国際交流協会のイベント申込、問い合わせは事務局まで！

NPO 法人美濃加茂国際交流協会 Minokamo International Exchange Association

事務局 〒505-0041 美濃加茂市太田町 1752-1 則竹ビル1階

TEL&FAX 0574-28-3822 (月~金/9:00~17:00)

E-mail office@miea-jp.com

URL :http://miea-jp.com

FB : http://www.facebook.com/miea.jp